

少年センターだより

「**湖南省少年センター・あすくる湖南**」

◀所在地▶ 〒520-3195 湖南省石部中央一丁目1番1号
湖南省役所西庁舎 別棟2階

◀悩み相談▶ Tel 77-7053 Fax 77-7059

◀e-mail▶ ask-7053@city.shiga-konan.lg.jp

湖南省少年センターHPに
カラー版を掲載中
QRコードで簡単アクセス!



11月は 「子ども・若者育成支援推進強調月間」

スローガン「 **たくましく 伸びよう 伸ばそう 湖国の子** 」

「子どもの言葉を引き出す」

湖南省教育研究会 中学校生徒指導部会長 藪下 和彦

赤ちゃんは何ひとつ言葉を発しないのに、周りの人たちはおのずと世話を焼きます。あどけない顔を見ていると、つい「守りたい」「保護したい」という衝動にかられます。これは人間に限らず、ほかの動物でも同様です。あどけない表情、つぶらな瞳、疑いを知らない笑顔、ぎこちない仕草。赤ちゃんは言葉にならないメッセージを発し、親はそれに耳を傾けて世話を焼く。そこには赤ちゃんをひとつの命として尊重する親の姿勢や愛情があります。このメッセージを発する者と受け取ろうとする者の関係こそが、耳を傾けることの土台になっているのです。

聴く人の姿勢が話そうとする人の言葉を引き出し、自分では整理がつかなかったことも、聴いてくれる人に励まされて言語化できるようになるのではないのでしょうか。「話を聴く」というとき、私たちは発話する人がいて、その人の話に耳を傾けると考えがちです。しかし、話し手は、実は聴き手に助けられて、励まされながら話しているのです。聴き手である親が、子どもが安心して話したくなるような環境を常に整えておくことで初めて子どもは、ぼそぼそと、あるいは途切れ途切れに話し出すのです。

作曲家の芥川也寸志さんの著書「音楽の基礎」は、音楽を成り立たせるものは何かという内容から始まります。答えは、「静寂」。つまり、これから始まる音楽に耳を傾けようとする聴衆の姿勢の上に音楽は成り立っていると書かれています。



便利な会話ツールであるLINE。LINEは線のことですから、人と人とを結びつけることをイメージして名付けられたのでしょう。その活用自体は悪いわけではありませんが、本来の会話とはもっと親密で、身体性が伴うものではないのでしょうか。系電話のように、しっかりとした線で、一対一で繋がらう。「耳を傾ける」とは、相手を「受け容れ」、「寄り添う」ことでもあります。子どもが何かを伝えたいとき、いつでも安心して話せる環境は、急ごしらえではできません。だからこそ、普段から家庭の中に、あるいは親子の間に、話しやすい親密な空気をつくっていくことが重要になるのです。

引用：「耳を傾ける」姿勢が、子どもの言葉を引き出すより 上廣 哲治

11月は「滋賀県子ども・若者育成支援推進強調月間」です。
期間中に子ども・若者育成支援推進のための諸事業、諸活動を集中的に実施します。
少年センターでは青少年に関わる団体や機関などと連携しながら、巡回パトロールや啓発活動を実施します。
また、青少年を取り巻く有害環境浄化推進のため図書、DVD、ゲームソフト、有害玩具、刃物等の取り扱い販売店やカラオケ、ネットカフェ店の規制対象業に対して、一斉立ち入り調査を行います。

「薬物乱用防止啓発標語」

一度だけ 入ったしゅんかん 暗いやみ
薬物は 一人の夢を こわします

山下 紗希さん(令和5年度下田小学校卒)
久田 陽琉さん(令和5年度菩提寺北小学校卒)

薬物乱用防止
特別号

10月1日～11月30日は 「麻薬・覚せい剤・大麻 乱用防止運動！」



「麻薬・覚せい剤・大麻乱用防止運動」にちなみ、薬物の怖さをお知らせしたいと思います。特に若者の間で増加傾向にある大麻について取り上げます。

大麻の乱用による影響		大麻の有害性		大麻を長く使い続ける影響	
知覚の変化	学習能力の低下	運動失調	精神障害	IQ(知能指数)の低下	薬物依存
時間や空間の感覚がゆがむ	短期記憶が妨げられる	瞬時の反応が遅れる	統合失調症やうつ病を発症しやすくなる	短期・長期記憶や情報処理速度が下がる	大麻への欲求が抑えられなくなる



大麻草



大麻(マリファナ)

大麻とは？

大麻とはアサ科の一年草です。茎から丈夫な繊維が取れるので、昔から栽培・利用されてきました。

一方で、大麻の花や葉には「THC(テトラヒドロカンナビノール)」という脳に作用する成分が含まれており、大麻を乱用すると左図のような様々な影響があります。

インターネット等では『大麻は身体への影響がない』『依存性がない』などの誤った情報が氾濫しています。大麻の有害性は特に成長期にある若者の脳に対して影響が大きいことも判明しています。また、大麻はうつ病や記憶の障害を引き起こすなど、メンタルヘルスにも悪影響を与えます。間違った情報に流されず、正しい知識で判断しましょう。

検挙人員について

右の資料は公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センターが出した資料です。検挙数も右肩上がりになっていて、特に30歳未満の検挙人員は令和5年では過去最多となっています。

また、資料のように大麻を含んだ食品(クッキー、チョコレート)など手軽に近づけてしまうものも存在します。

海外でお土産として売られているお菓子などに大麻が含まれていることがあります。誤って口にして体調不良で緊急搬送された事例もあります。気を付けましょう。



大麻事犯の検挙者数の推移(過去10年)



薬物を乱用しないために

・誘いの言葉にだまされないこと

「1回だけなら大丈夫」「やせられるよ」「みんなやってるよ」などの甘い誘いは全部ウソです。

・「はっきり、きっぱり」断ること

誘われたとき、少しでも迷っている様子を見せてしまうと、また誘われてしまいます。誘われたときには、「はっきり、きっぱり」強い態度で断ることが大切です。

◆薬物のことで相談したいことがあれば、下の窓口にお問い合わせください。

滋賀県の薬物乱用防止相談窓口

- 滋賀県薬務課 077-528-3634
- 滋賀県立精神保健福祉センター 077-567-5010

◎少年センターでは無職少年の就労・就学の相談・支援を実施しています。

中学校卒業後から20歳未満の少年で働きたい・学びたい。でも何をしたらよいのか分からない人の相談を受け付けています。センターに連絡ください。 Tel 77-7053

「薬物乱用防止啓発標語」

薬物は 心も体も 傷つける
薬物を すすめられても ことわろう

向井 心春さん (令和5年度菩提寺北小学校卒)
青木 心佑さん (令和5年度三雲小学校卒)